災害時チャレンジ

～防災力アップ～

災害時チャレンジは災害時に役立つ知識や技術を、体験等を通して学んでいくプログラムです。

対象	実施時期	定員	所要時間
４年生以上	11 月末まで ※7～8 月は晴天時のみ実施可	１０～９０人	２時間～３時間 （準備、ふりかえりを含む）

可能な活動場所
木の広場、せせらぎ広場、第２キャンプファイヤー場、避難所など ※雨天時は午後であれば館内にて実施可能（7～8 月を除く）。

利用者持ち物	プラザ貸し出し備品
時計・バインダー・筆記用具・水筒・軍手・帽子・解答用紙（HP より印刷）・新聞紙（1 人×見開き２分の１枚）※新聞紙コップ用 【プラザから事前発送】 地図・有人ポイント一覧・新聞紙コップのつくり方	【共通】 各有人ポイント解説ファイル・ポリ袋(人数分) あっぱくん×２・毛布・丸太・カラーコーン・ストップウォッチ 【晴天】 マッチ・新聞紙(火おこし用)・鉄板・ペグ・麻紐・消火用バケツ・火ばさみ・灰運び用一輪車・皮手袋・消火器・貯水用バケツ ※バケツはせせらぎ広場の物を使用 【雨天】 ロープ（パラコード　オレンジ５本・緑４本）・カラーボール・カゴ

ねらい

- 災害時に役立つ技術の体験等を通して、防災への関心や意識を高める。また、身近なものを利用し、災害時に役立つ道具作りのスキルを身に付ける。
- 仲間と協力して課題を解決しながら活動する楽しさを知る。

実施の流れ

準備（1 グループ６人程度）　（30 分程度）

① 実施の 30 分前から当所職員と団体指導者による打合せ（ルールの確認、配置の決定、指導方法の伝達）

② 各ゲーム備品の設置

※職員による全体説明はありません。

以降は、各団体で進行してください。

導入　（10 分程度）

①　動機づけ（上記「ねらい」参照）
②　グループごとに筆記用具・時計・地図・解答用紙を配布
③　ルールの説明（時間、場所、地図）
④　安全上の注意（下記「留意点」参照）

実施　（2 時間程度）

① グループごとに地図を見て、無人または有人ポイントに移動します。
② 【無人ポイント】
　10 か所のポストに表示してある課題を解きます。
③ 【有人ポイント】
　最大 5 か所です。指導者の指示に従い課題にチャレンジし、クリアしたら解答用紙に指導者のサインをもらいます。
④ 課題をクリアできなかった場合、他のポイントに移動します。同一ゲームへの連続チャレンジは不可です。
⑤ 全員がそろってゴールします。

有人ポイント一覧

① 火つけ体験（制限時間内に火をつけ、麻紐を焼き切る）
　（雨天時）ロープワーク（ロープワークでロープを延長する）
② バケツリレー（川から汲んだ水をバケツリレーで運び、貯水用バケツを満水にする）
　（雨天時）カラーボールでバケツリレー（全部のカラーボールをバケツリレーでかごに入れる）
③ 新聞紙でコップ作り（新聞紙でコップを作り、実際に使ってみる）
④ 救急救命（倒れている人がいると想定し、『あっぱくん』を使って、胸骨圧迫を体験）
⑤ 毛布担架体験（毛布の上に丸太を乗せ、指定された距離を運ぶ）

片付け

①　集合時間になり、最後のチャレンジが終了したら、各ゲームの備品を事務所窓口に戻してください。
②　返却備品が全て揃ったら、職員へ報告してください。

答え合わせ　（15 分程度）

① 得点を集計します。
② 無人ポイントの答えについてパネルを使って解説をします。

まとめ　（5 分）

① グループごとに得点を集計し、結果を発表します。
② グループごとにふりかえりの時間を持ち、班で協力してできたか、防災について学んだことは何か、これからの生活の中でできることはなにかなどについて話し合います。
③ 話し合いで出たポイントをグループごとに発表します。
④ 団体指導者から今後につながる内容の総括を伝えます。

留意点

① 9-1,9-2 は必ず 9-1 から回ります。
② 雨天時は火つけ体験をロープワークに、バケツリレーは水をボールに変更します。
③ 自然保護・危険防止のため、遊歩道以外には入らないようにしてください。
④ 活動範囲を確認しましょう。「これより先オリエンテーリングのポストはありません」の看板（展望台）より先に行かない、また施設外の道路には出ないようにしましょう。
⑤ 緊急時等の対応を考えましょう（引率者の役割の確認・緊急時の連絡方法・救急薬品等の準備）。
⑥ 火つけを実施する団体は、火傷や怪我に注意しましょう。
⑦ バケツリレーでは、バランスを崩して転倒、川に落ちてしまう危険性があるため、団体指導者は参加者の安全確保を第一に考え、事故を未然に防げるような位置に立って見守りましょう。
⑧ ポストが倒れていたり、破損していた場合は事務室に連絡してください。